

ノースカロライナ大学短期語学研修報告書
上智大学 理工学部 機能創造理工学科 3年 岩沢萌生

【基本情報】

滞在期間：2015年2月26日～3月18日

滞在先：アメリカ合衆国ノースカロライナ州シャーロット Drury Inn

大学：ノースカロライナ大学シャーロット校 (UNCC)

参加者数：12名(上智大学 理工学部生)

【授業】

授業は2週間実施されました。内容は、ドラマを見てそこで何が起きているのかを英語で説明したり、グループワークで発明を考え、それを英語でプレゼンをしたりしました。

【キャンパス内施設】

食堂が沢山あったり、ギフトショップがあったりして時間があるときは行きたいところが沢山ありました。また、卓球場やバスケットコートも使えて施設は充実していました。一番良かったことはキャンパスがとても広くてきれいだったことです。

【留学費用】

- ①出発時に持参した金額：約 80000 円
- ②現金・クレジットの使い分け：半々で使いました。
- ③要した費用
 - 食費：約 25000 円
 - 旅行・ツアー等：約 8000 円
 - お土産：約 25000 円
 - その他(洗濯等)：約 2000 円
 - 合計：約 60000 円

【留学の感想】

留学にずっと行きたいと考えていたので、今回行けてアメリカの文化に触れることが出来て良かったです。今でも向こうで出会った友達とは連絡を取り合ったりしています。この留学を通して英語を話すことの楽しさを学びました。今後は外国でも働けるような人財になるために、英語の勉強に一層励んでいきたいと考えています。今回いただいた奨学金はこの留学に参加する際の生活費、空港までの交通費などに使わせていただきました。大変感謝しております。

海外研修報告書要約

菱田充優

今回の短期留学の目的は、私の英語のコミュニケーション(リスニング、スピーキング)力を伸ばすきっかけを作ることにあつた。私はこれまで受験英語としてリーディング、ライティングばかり勉強してきた。が、大学入学後に留学生と触れ合う機会が幾度とあつたことで、これ以後、より必要になるのはコミュニケーション力の方であると考え、その学習の最初の一步としてこの留学は最適であると感じたのである。

終わってみれば三週間とは非常に短くてあつという間であつた。が、英語の授業を聞いたりペンパルと過ごしたりしているうちに耳はすぐに英語に慣れてきて、自分でもその適応の速さに驚いた。序盤は聞き取るのに苦労した彼らの英語を、終盤には大分理解できるようになっていた。また、積極的に発言することを心がけ口を動かしているうちに、段々と発信できる量が増えていくのを実感できた。これらの経験は、帰国後も英語を学習する上で大きな刺激になったと言える。さらに、アメリカの大学のキャンパスの大きさ、設備の豊富さを目の当たりにし、ぜひ再度(次は自分の専門分野を研究しに)留学したいと思うに至つた。

滞在中は学習面以外でも、日本とアメリカの違い(食生活、交通事情、人柄、人種の多様性など)を日々感じ、国による文化の違いというものを、実感を伴って自分のものとすることができた。

このプログラムの内容については、現地の教師による授業を受けられたり、ペンパル制度によって多くの学生と楽しく触れ合えたりしたことがとても良かったと思う。というのも、これにより、現地で自分の殻にこもってしまうことなく、積極的に英語に触れる姿勢作りができた部分が大きかつたと言えるからである。しかし残念だつたことは、ショッピングモールへの訪問が多すぎるように感じたことである。その時間を(全てとは言わないが)現地の学生との交流に当てたいところだつた。

私は理系であるため将来英語を専門とすることはないであろうし、今回の経験によって現在考えている進路が大きく変わるようなことはないだろう。しかし、英語の学習は、研究や就職においてより英語を活かし、自分の行動の幅を広げるための助けになるだろうと私は信じている。現地で得た刺激を忘れずに、以後も英語の習得を目標に勉強していきたいと思える良い体験ができたと思う。このプログラムのために協力して下さつた皆様方に、心から感謝したい。

海外短期研修 報告書

上智大学 理工学部 4年 長谷川泰彦

まず初めに、海外短期研修への奨学金を理工学部同窓会様より給付していただいたことをお礼申し上げます。奨学金をいただけたことでとても有意義な研修となりました。こちらの奨学金ですが、主に現地の学生との交際費に使わせていただきました。その内容について報告をさせていただきます。

1. 研修期間：2015年2月27日～3月19日(21日間)
2. 研修場所：アメリカ合衆国ノースカロライナ大学シャーロット校
3. 主な奨学金の使用先：現地学生(ペンパル)との交際費
 - ・レストラン等での食事代、娯楽施設での利用料金、ホームパーティの費用など
4. 研修生活
 - 2月27日：入国
 - 2月28日～3月18日：大学での研修、ペンパルとの交際
 - 3月19日：帰国
 - ・私は4人の現地の学生とペンパルとなり、入国・帰国の日以外は1日として欠かすことなく遊びに連れ出してもらいました。レストラン、娯楽施設、ペンパルのシェアハウス等、様々な場所へ行き多くの経験をすることで現地の文化そして慣習に触れることができました。21日間という長い研修期間でしたのである程度の出費がありましたが、理工学部同窓会様からの奨学金給付がありましたことでなに不自由なく日々の生活を送ることができ、とても素晴らしい研修生活となりました。
5. 全体の感想
 - ・私はこの研修が初めての海外渡航であり、日本とは異なる文化・慣習が世界にはあるということ、身をもって感じることができました。時には文化などの違いから衝突することもありましたが、その都度きちんと背景を説明しあうことで乗り越えることができました。この研修を通じて得られた経験は、私の一生の財産です。また、今年(2015年)の秋学期から私のペンパルの1人が留学生として上智大学に入学します。そのペンパルと共にさらに見識を深め、今後の生活に活かしていきたいと思えます。駄文ではありますが、以上を研修の報告とさせていただきます。

1. 授業

受講したクラスのレベルは sectionB でクラスは全員日本人、授業の内容は発音の授業が一時間、hot topic という理工系の最新の話題に対して ted talks を見てクラスの人とディスカッションをしたり現地の大学の学生とディスカッションする授業が一時間、現地の人にインタビューをしてそのインタビューの結果に基づいて最終的にプレゼンテーションをするという授業が一時間あり通常の授業は午前で終わりました。ただ、宿題が割と出たので午後は3時くらいまでは宿題をこなすという感じでした。宿題のなかには先生が youtube を使って動画で課題を出してきてそれに対して自分も youtube に動画を上げて答えるという課題や、大学や町の人にインタビューをするという課題や、動画を見て先生からされた質問に答える課題など様々な課題がありました。どれも日本ではやったことのないことで私にとってはとても新鮮で楽しかったです。こういう勉強こそ自分のための勉強だなと思いましたしやっているときは充実感でいっぱいでした。授業のクオリティも日本の大学より高く少人数で行われたためとても参加しやすかったです。自分から話していく授業というのは日本にはなかったしこれがアメリカの授業かという感動を覚えました。とにかくとても良かったです。

2. 住居

ホストファミリーの人は毎年学生を受け入れているところが多く留学生に慣れている印象でとても馴染みやすかったです。ホストファミリーは男の子が2人、両親、おばあちゃんが一人という構成でした。子供がとっても活発で毎日一緒に遊んでいました。ホストファミリーの人は結構いろいろ教えてくれて野球に連れて行ってくれたり、ご飯に連れて行ってくれたり、毎晩一緒にドキュメンタリードラマを見たり本当にいろいろとお世話になりました。部屋のベッドがダブルベッドでそれを一人で使ったり、コーラは飲み放題、なんでも食べ放題で確実に日本にいる時より贅沢な暮らしでした。

3. キャンパス設備

キャンパスはとても広く上智の20倍くらいはあると思います。移動には自転車が必要で大学の端から端まで歩くのに30分くらいかかりました。また広い芝生のグラウンドのようなところがいくつもあってそこで運動したりご飯を食べたりいろいろ出来ました。他にもまるでリゾートのようなプールやサッカー、バスケット、スカッシュ、卓球、ロッククライミング、筋トレなどができるジムもありました。食堂は店がいくつかあってピザ、タコス、ハンバーガーなどいろいろなものが食べられます。

4. 感想

最初は英語が全く出てこなくてジェスチャーや電子辞書で単語を調べてしゃべっていましたが、慣れてくると決まった文句や単語がパッとと言えるようになってきましたが、外国語を話すことや聞くことに対する抵抗は全くなくなりました。また向こうの人は大体の人がフレンドリーでとても話しやすく明るい人が多く日本とは違うなと感じました。またカリフォルニアの気候はとても過ごしやすく毎日晴れていて気温も高いけど湿度が低いので日本のように暑くはなく、また夜は20℃くらいで風もあってとても過ごしやすかったです。この気候も向こうの人を陽気にしている理由かなとも思いました。バスに乗り遅れて次のバス停まで頑張って走ってバスに乗ったらバスの乗客の人から拍手喝采を浴びたり、私たちが自転車の受け取り場所を探していたらジェントルマンが話しかけてくれて一緒に自転車の受け取り場所を1時間くらい探してくれる人がいたりアメリカ人の寛大さと心の広さには本当に驚きました。そしてすっかりアメリカが大好きになってしまいました。いままで日本を出たことがなかったので世界の人の

を知らなかったですが、今回アメリカに行って日本人とはの違いなどがすごく見えて、ほかの国はどうなっているんだろうという思いと、もっといろいろ見てみたいという好奇心がわきました。ただ今のままの英語力では物足りないので今後はもっと英語をやろうという意識も高まりました。とにかくとても楽しくて人生で最も有意義な1か月であったことは間違いありません。